

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和7年度北九州港湾施設施工検討業務				
業務概要	業務名称	業務内容	単位	数量	摘要
	港湾施設施工検討業務				
	計画準備	計画準備	式	1	
	施工計画の検討	資料収集整理 施工条件の整理 岸壁築造工の施工検討	式 式 式	1 1 1	3構造形式
	工程計画の検討	工程計画の検討	式	1	
	協議・報告	協議・報告	回	4	事前協議1回 中間報告2回 最終報告1回
	成果物	業務完成図書作成	式	1	
契約担当官等の氏名並びに所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所長 鈴木 賢治 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所 北九州市門司区西海岸1-4-40				
契約年月日	令和7年9月11日				
契約業者名	一般財団法人港湾空港総合技術センター				
契約業者の住所	東京都千代田区霞が関3-3-1				
契約金額	30,965,000 円(税込み)				
予定価格	30,976,000 円(税込み)				
随意契約によることとした理由	本業務を的確かつ円滑に実施するためには、港湾工事における施工方法の知見を有するとともに、想定される施工上の課題について、施工性、経済性等を踏まえた施工方法及び工程計画の検討を行う高い技術力を有している必要がある。 以上のことから、プロポーザル方式により、契約内容並びに契約手続きを公示し、参加表明業者においては、予定技術者の経験・能力(技術資格、業務執行技術力、専門技術力)、発注者の要請に対する的確性・迅速性に関する本業務の実施体制及び本業務に関する特定テーマに対する技術提案の提出を求めるとともに、予定技術者へのヒアリングを行うことにより、専門技術力の確認、本業務の遂行能力等を評価したものである。 建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、「航行船舶と作業船等の離隔を詳細に可視化できる3Dモデリング図の作成及び海上作業と陸上作業の効率的な区分を行い、環境負荷の少ない工法による施工計画の検討を行うとした具体的な解決方法」に関する提案を評価し、一般財団法人港湾空港総合技術センターが最適であると判断されたことから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い、円滑な遂行を図るものである。				
業務場所	-				
業種区分	建設コンサルタント等				
履行期間(自)	令和7年9月11日				
履行期間(至)	令和8年3月19日				
備考					